

# 平成25年度 障害者虐待防止法に係る 大阪府の対応状況について



# 平成25年度(平成25年4月～平成26年3月) 大阪府内及び全国の障がい者虐待の対応状況

	養護者による障がい者虐待		障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待		使用者による障がい者虐待 (市町村・都道府県で通報等受理数)		※[参考) 労働局の対応 使用者による障がい者虐待	
	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国	大阪府	全国
相談・通報・届出件数	<b>722件</b> (429件) 全国最多	<b>4,635件</b> (3,260件)	<b>152件</b> (89件)	<b>1,860件</b> (939件)	<b>40件</b> (16件)	<b>628件</b> (303件)	<b>55</b> 事業所	<b>775</b> 事業所
虐待と判断した(または受けたと思われた)件数	<b>297件</b> (199件) 全国最多	<b>1,764件</b> (1,311件)	<b>22件</b> (5件)	<b>263件</b> (80件)	—	—	<b>18</b> 事業所 (0)	<b>253</b> 事業所 (133)
被虐待者数	<b>297人</b> (199件)	<b>1,811人</b> (1,329件)	<b>98人</b> (11件)	<b>455人</b> (176件)	—	—	<b>25人</b> (0人)	<b>393人</b> (194人)

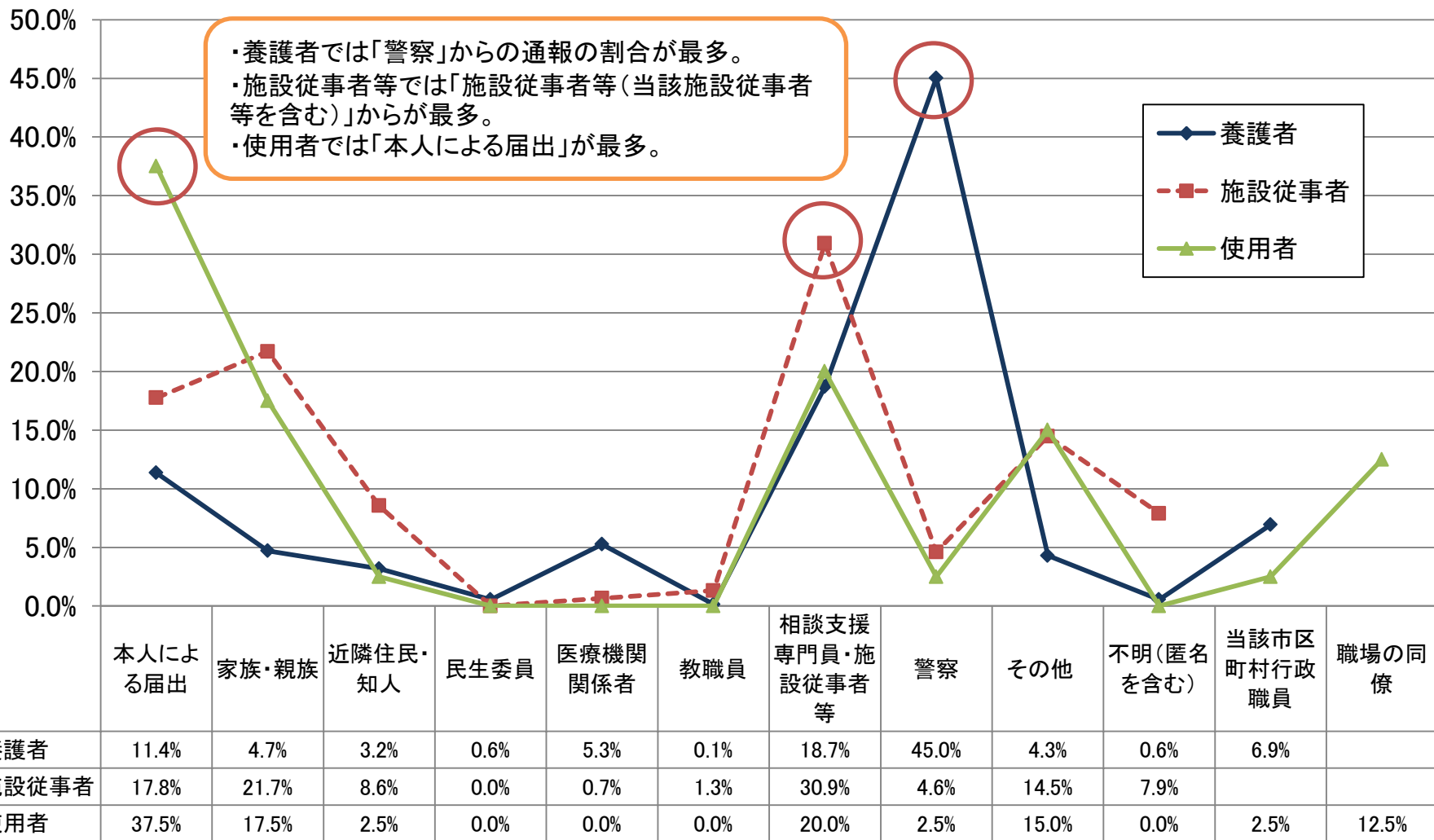
※( )内は、平成24年10月～25年3月(6カ月間)の対応状況

※労働局での対応について、相談受理件数は都道府県からの労働相談票の報告と労働局部署での把握件数を含む

# 大阪府の状況

～養護者・施設従事者・使用者の比較～

## ～通報・届出・相談者の割合の比較～



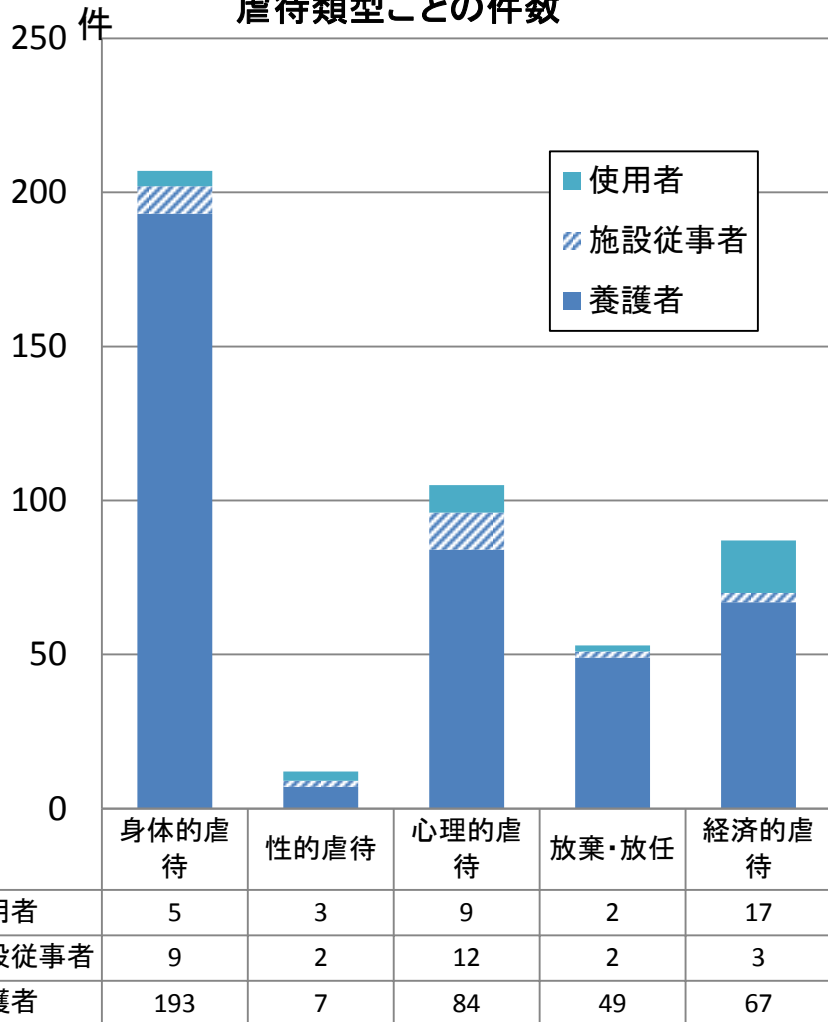
※グラフは、府内の通報件数の養護者722件、施設従事者152件、使用者40件に対するそれぞれの割合を表す。

※施設従事者の「相談支援専門員・施設従事者等」30.9%については、「当該施設等の従事者・管理者(元従事者・設置者・管理者を含む)」からのものが25.5%となっている。

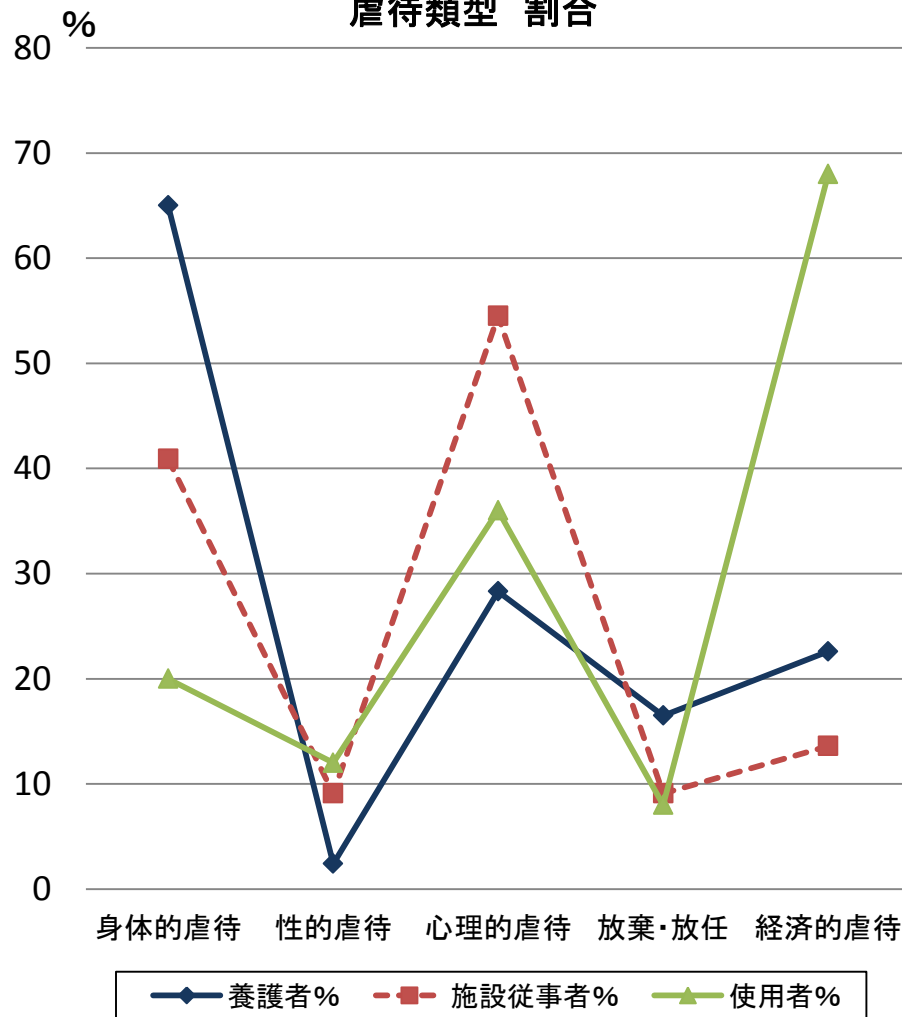
※空欄は、調査項目に選択肢がないもの。

## 虐待類型との関係

虐待類型ごとの件数



虐待類型 割合

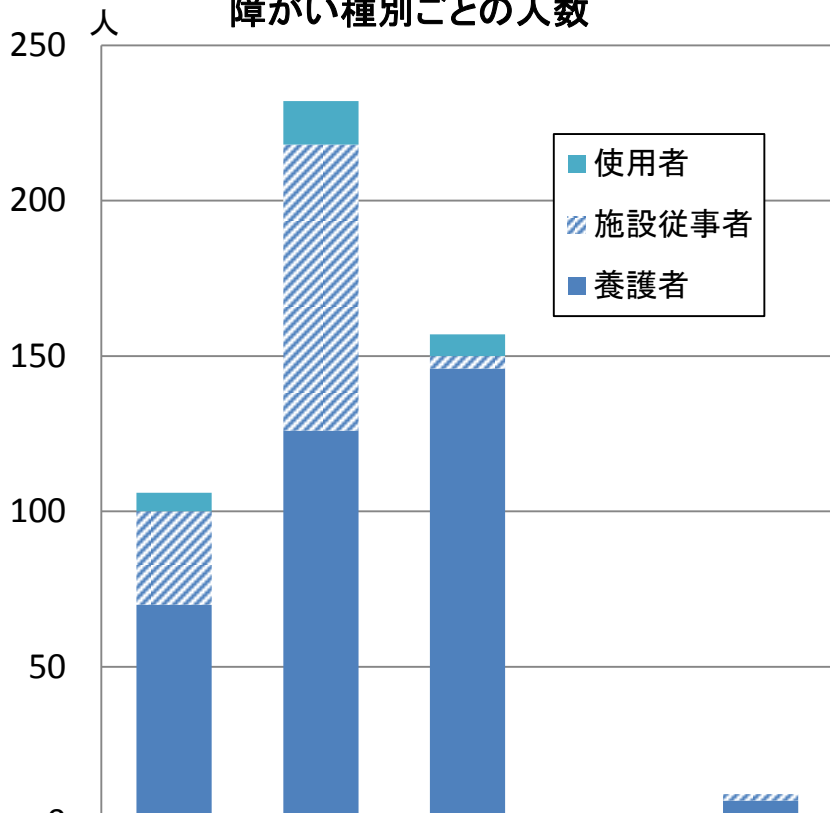


※複数の虐待類型がある場合には、それぞれの項目に重複して計上している。

- ・養護者では「身体的虐待」の割合が最多。
- ・施設従事者等では「心理的虐待」が最多。
- ・使用者では「経済的虐待」が最多。

# 障がい種別との関係

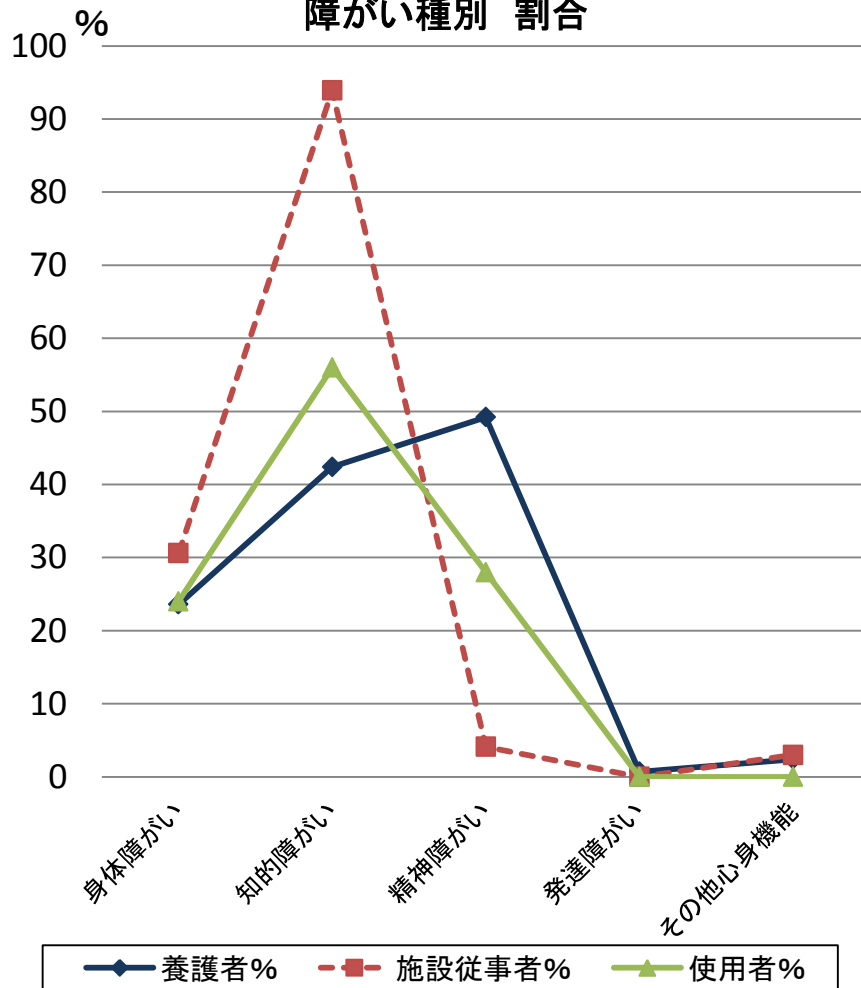
障がい種別ごとの人数



	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他心身機能
■利用者	6	14	7	0	0
▨施設従事者	30	92	4	0	2
■養護者	70	126	146	2	7

※重複障がいのある方は、該当する項目にそれぞれ計上している。

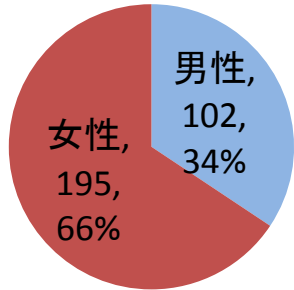
障がい種別 割合



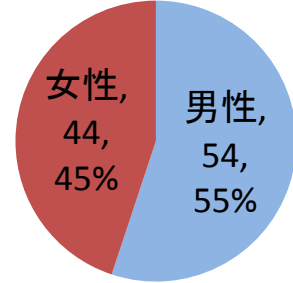
- ・養護者では「精神障がい」の割合が多い。
- ・施設従事者等では「知的障がい」の割合がかなり多い。

## 被虐待者の性別・年齢

養護者 性別

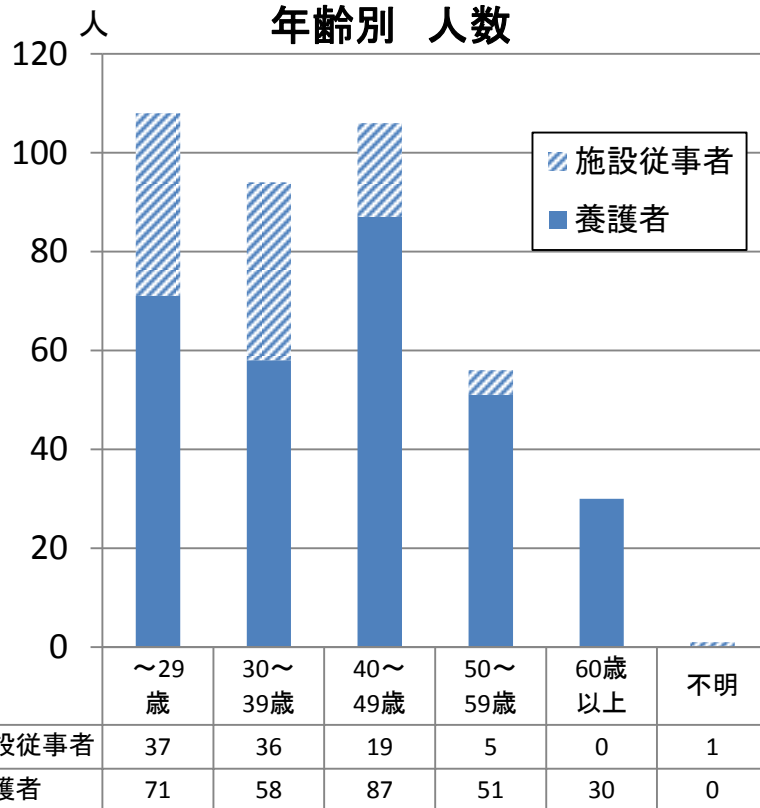


施設従事者 性別

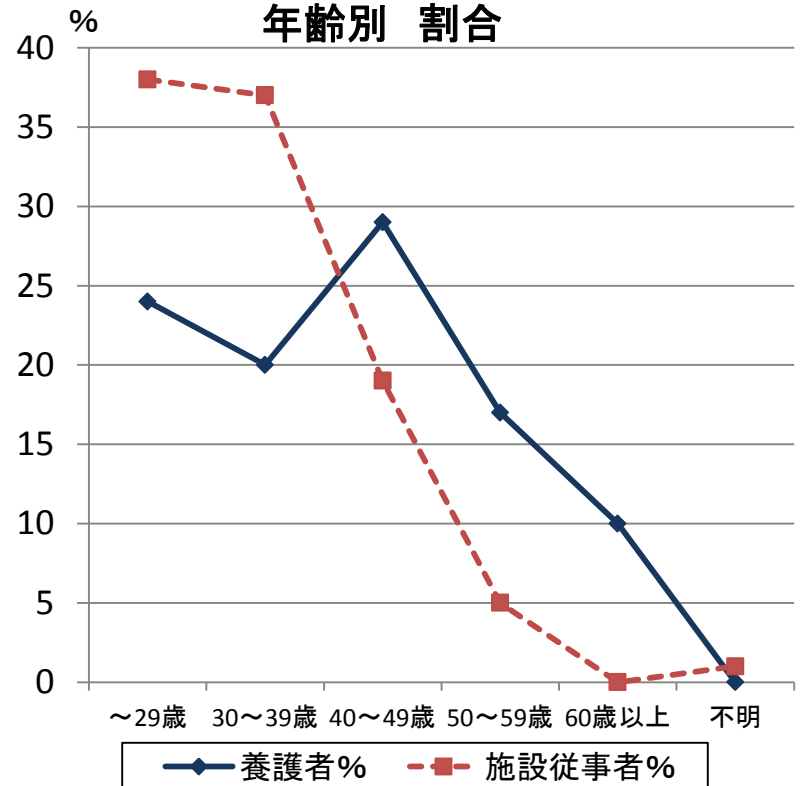


・養護者と施設従事者では、男女比が逆転。  
 ・年齢では、40歳未満が養護者は43%、施設従事者では74%で、施設従事者による虐待の方が若い方が被虐待者になっている割合が高い。

年齢別 人数

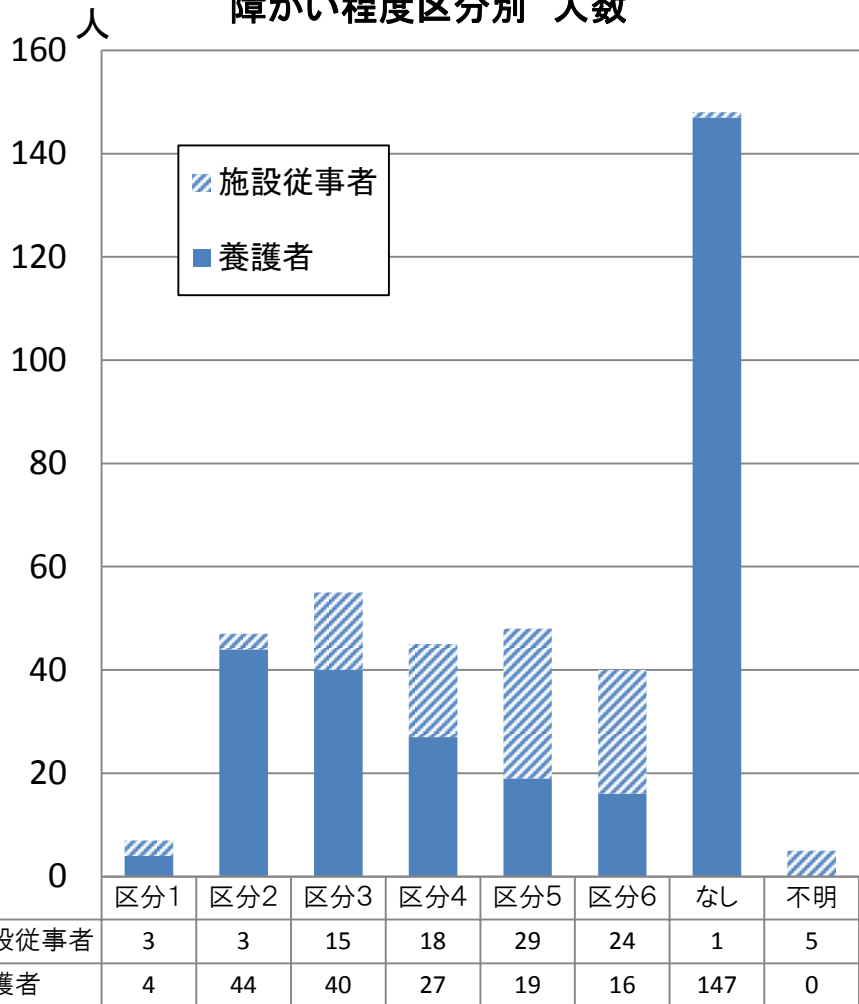


年齢別 割合

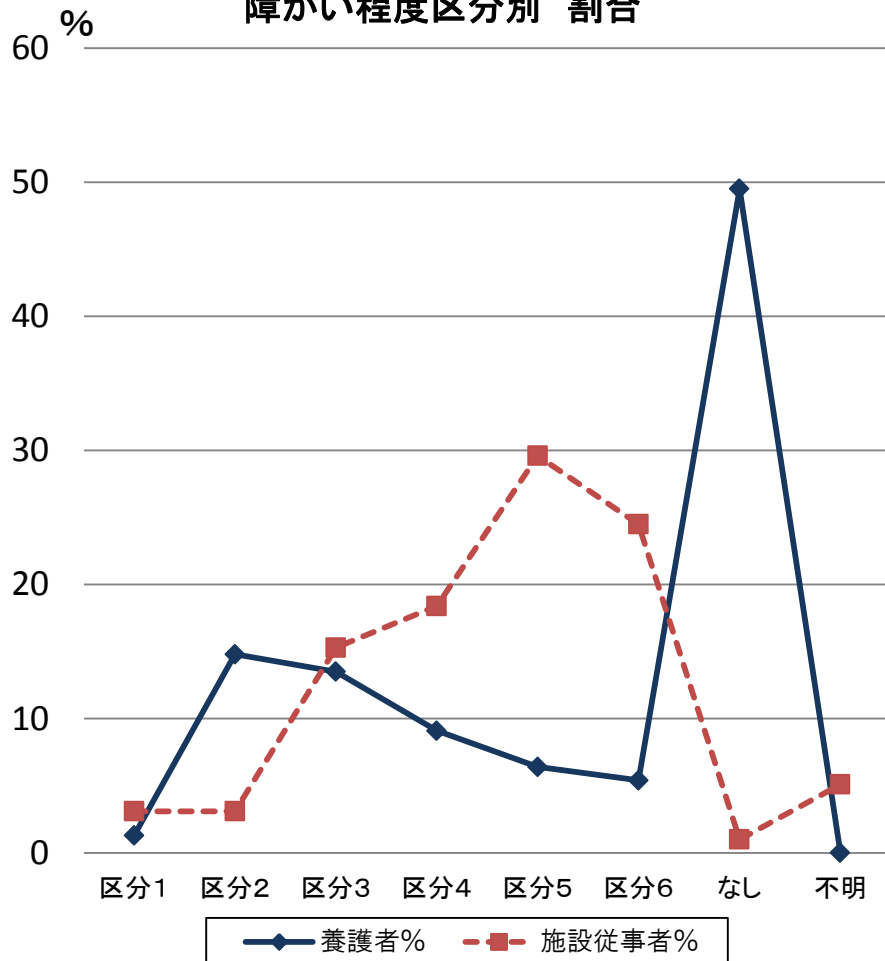


# 障がい程度区分との関係

障がい程度区分別 人数



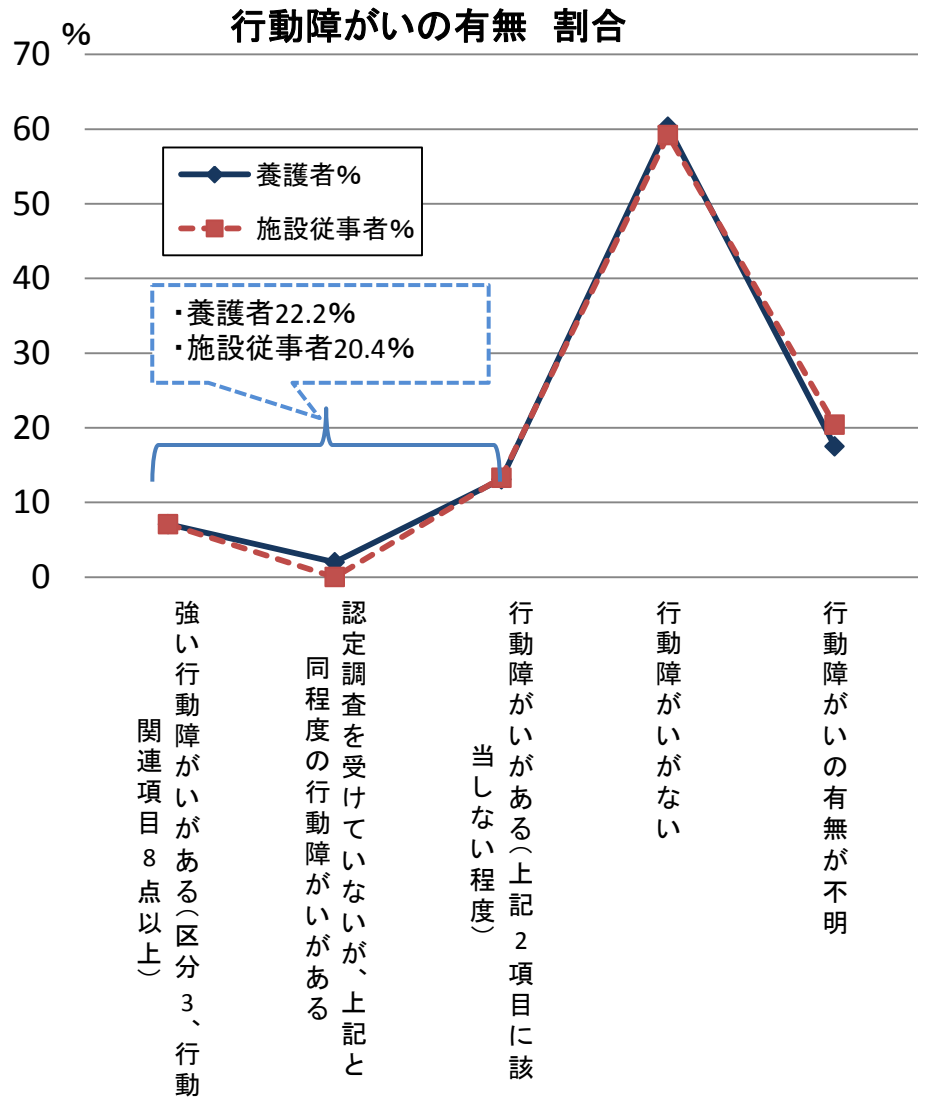
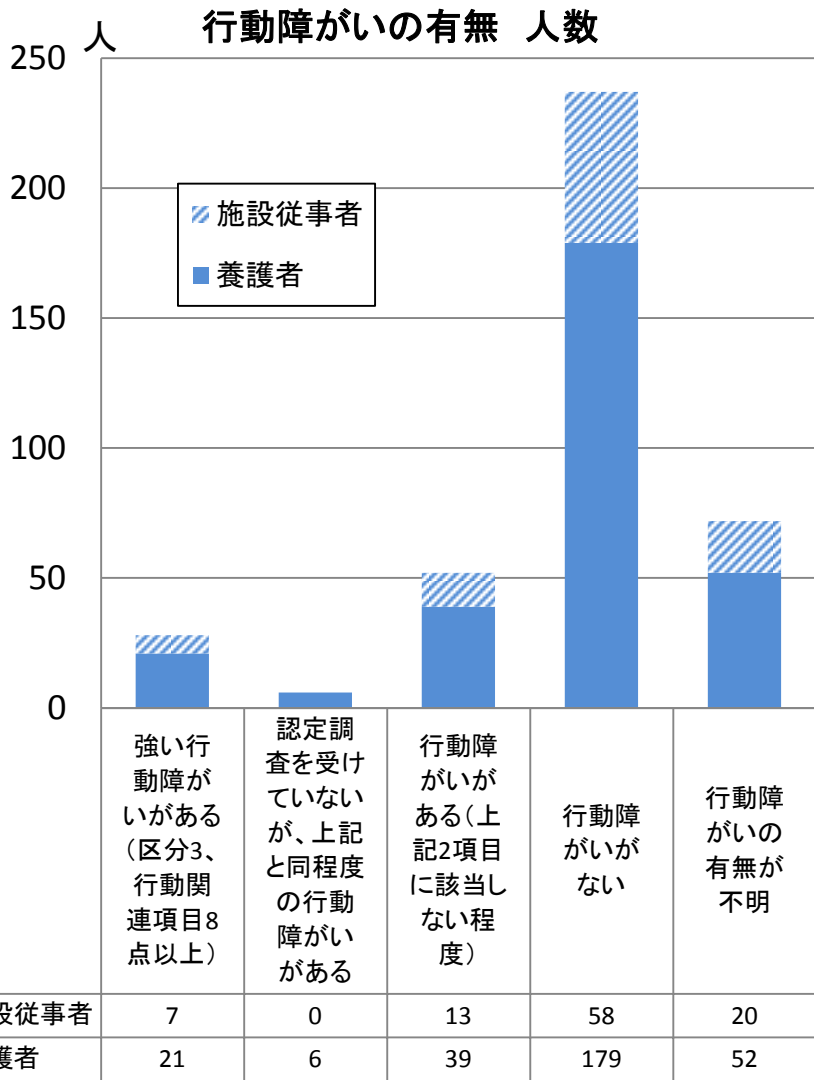
障がい程度区分別 割合



- ・養護者では、障がい程度区分「なし」が49.5%で最も高く、障がい程度区分の中では「区分2」、「区分3」の割合が合わせて28.3%となっている。
- ・施設従事者等では「区分5」、「区分6」の割合が高く合わせて54.1%、「なし」はわずか1人。



# 行動障がいとの関係



・行動障がいの有無については、「行動障がいがない」が最も多く、養護者と施設従事者等ではほとんど同じ割合。「行動障がいがある」は、2割強。



# 全国の状況と大阪府との比較

< 養護者・全国との比較 >

# 都道府県別に見た養護者による障がい者虐待(H25)

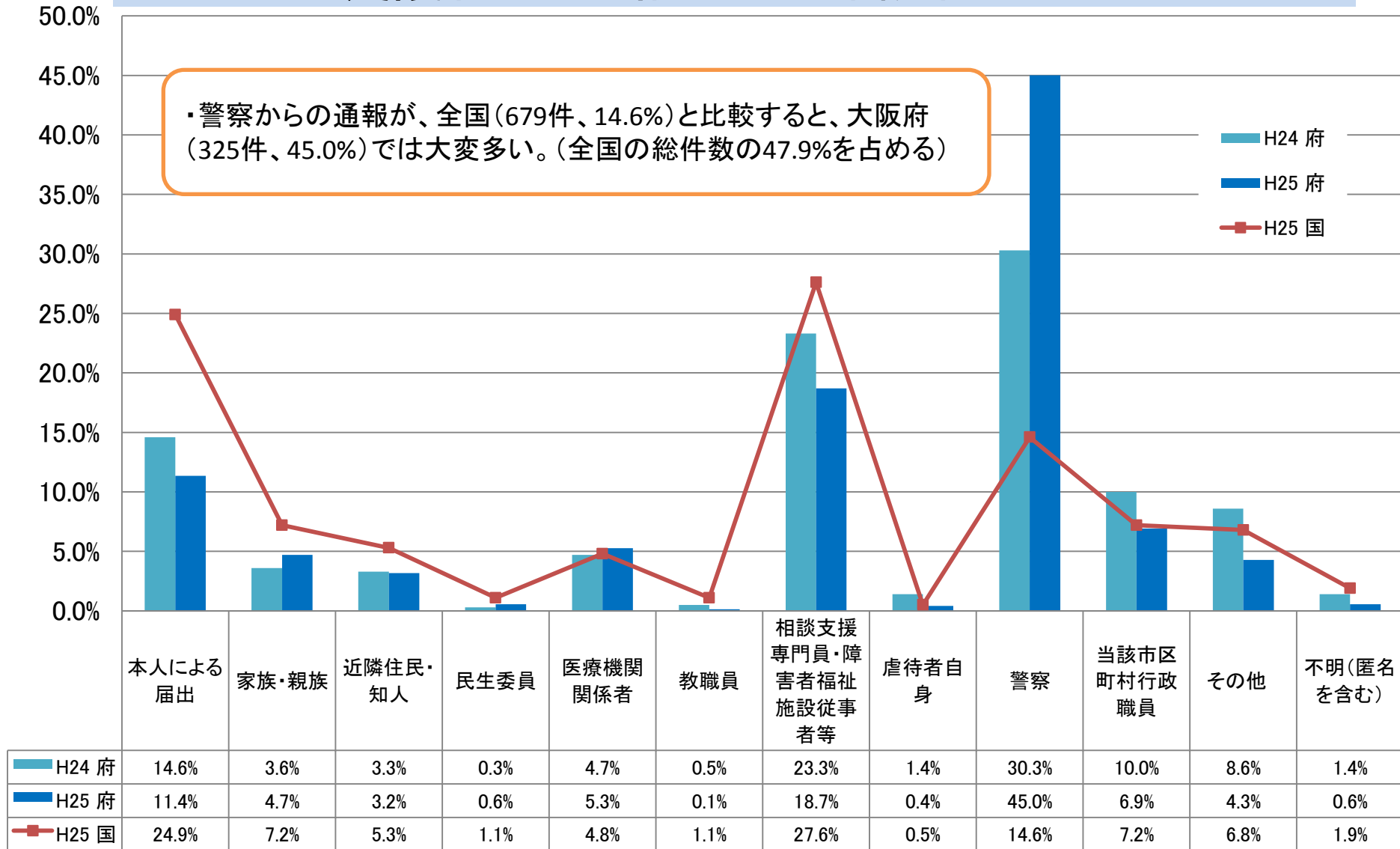
※虐待判断件数順

	相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数
1大阪府	722	297	13新潟県	80	43	25福島県	35	18	37和歌山県	33	12
2愛知県	224	129	14広島県	148	37	26岐阜県	34	17	38山形県	31	12
3神奈川県	347	114	15兵庫県	123	34	27鹿児島県	53	16	39奈良県	31	12
4東京都	300	110	16岡山県	100	31	28山口県	45	16	40鳥取県	33	11
5千葉県	250	82	17長野県	78	31	29石川県	44	16	41富山県	36	10
6北海道	213	73	18宮城県	80	30	30山梨県	36	14	42徳島県	26	10
7埼玉県	152	65	19群馬県	100	24	31福井県	31	14	43栃木県	19	10
8福岡県	187	60	20三重県	82	24	32熊本県	49	13	44秋田県	15	9
9沖縄県	127	58	21長崎県	44	22	33佐賀県	48	13	45岩手県	18	8
10静岡県	128	55	22茨城県	63	21	34大分県	54	12	46青森県	23	6
11京都府	72	54	23宮崎県	60	21	35愛媛県	43	12	47高知県	24	5
12滋賀県	124	51	24島根県	32	20	36香川県	38	12	合計	4,635	1,764

# <養護者・全国との比較>

## 養護者 ～通報・届出・相談者の割合

・警察からの通報が、全国(679件、14.6%)と比較すると、大阪府(325件、45.0%)では大変多い。(全国の総件数の47.9%を占める)



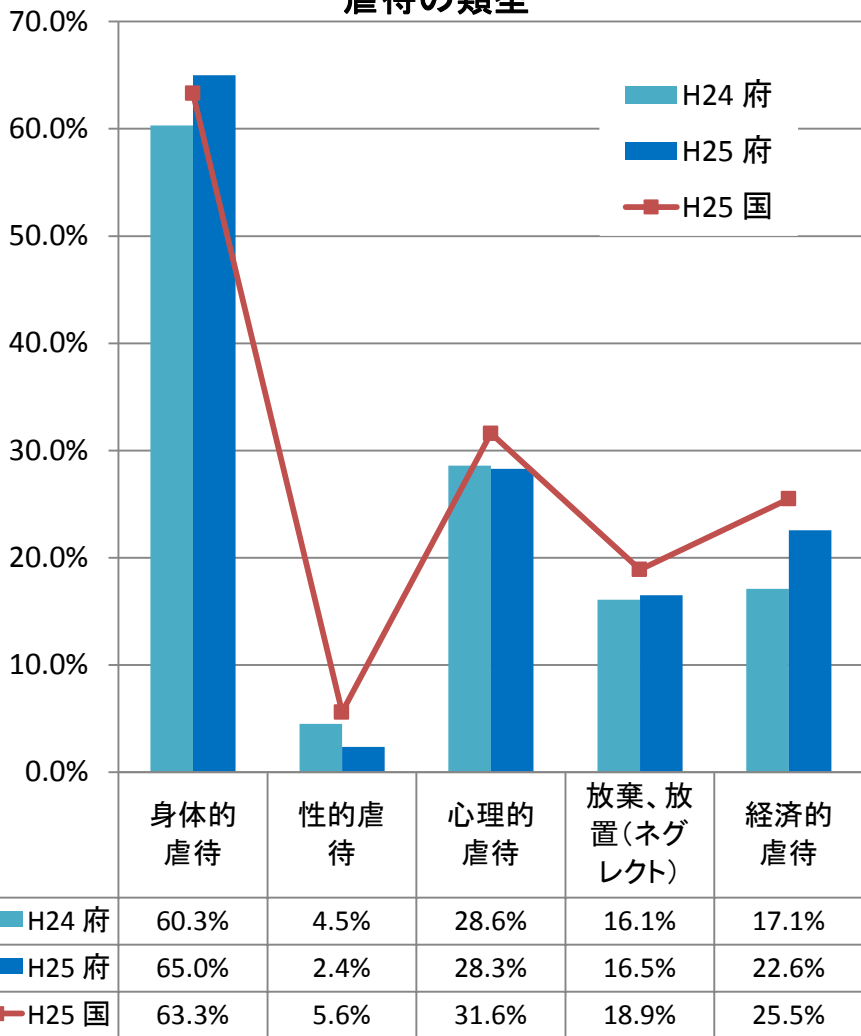
※複数回答有

※それぞれの通報・届出・相談総件数に対する割合

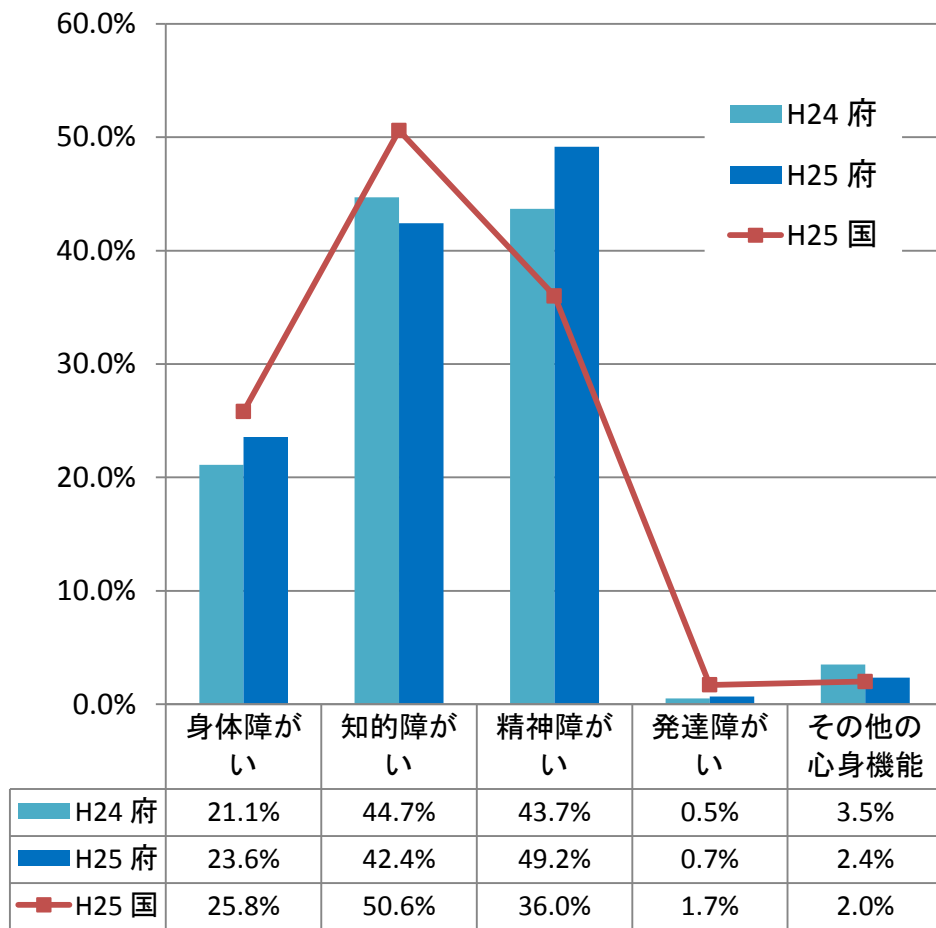
# < 養護者・全国との比較 >

## 養護者 ～虐待の類型・障がい種別

虐待の類型



障がい種別

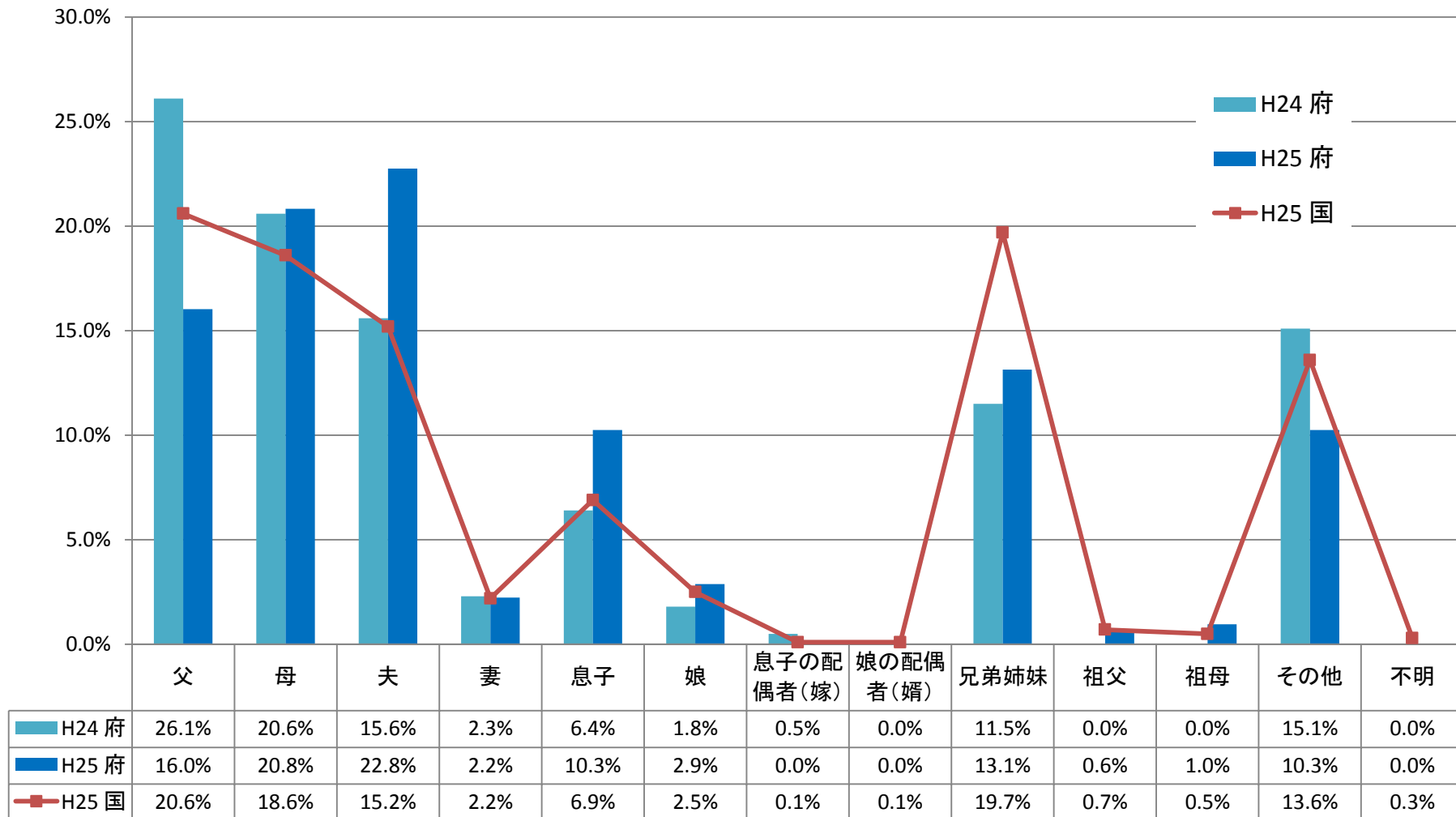


※複数回答有

※虐待と判断した(または受けたと思われた)件数  
297件に対する割合

・府では、障がい種別で「精神障がい」の割合が高い。

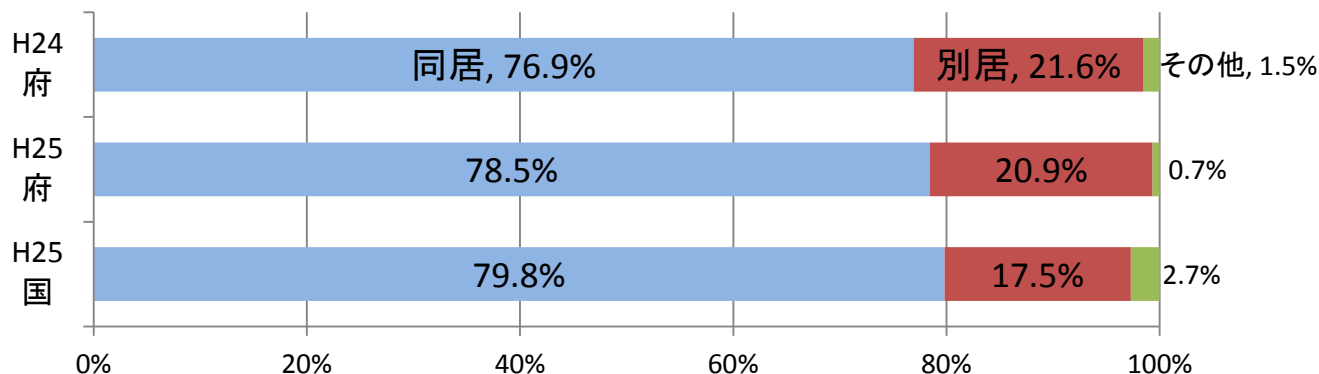
# 養護者 ～被虐待者からみた虐待者の続柄



- ・府内H24からH25で、「父」の割合が減少、「夫」が増加。
- ・「夫」の割合は全国と比べても高い。

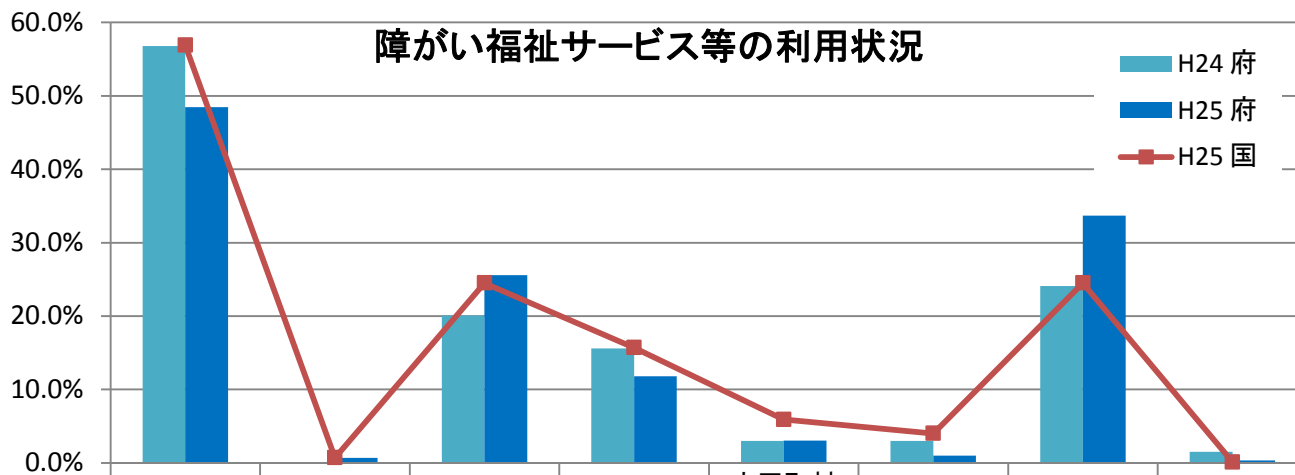
# 養護者 ～被虐待者の状況

虐待者との同居・別居



・同居・別居の内訳では、府と全国の割合はほぼ同じ。

障がい福祉サービス等の利用状況



・サービスの利用状況では、「障害者総合支援法上のサービス」の利用が全国と比べて低く、「利用なし」の割合が高い。

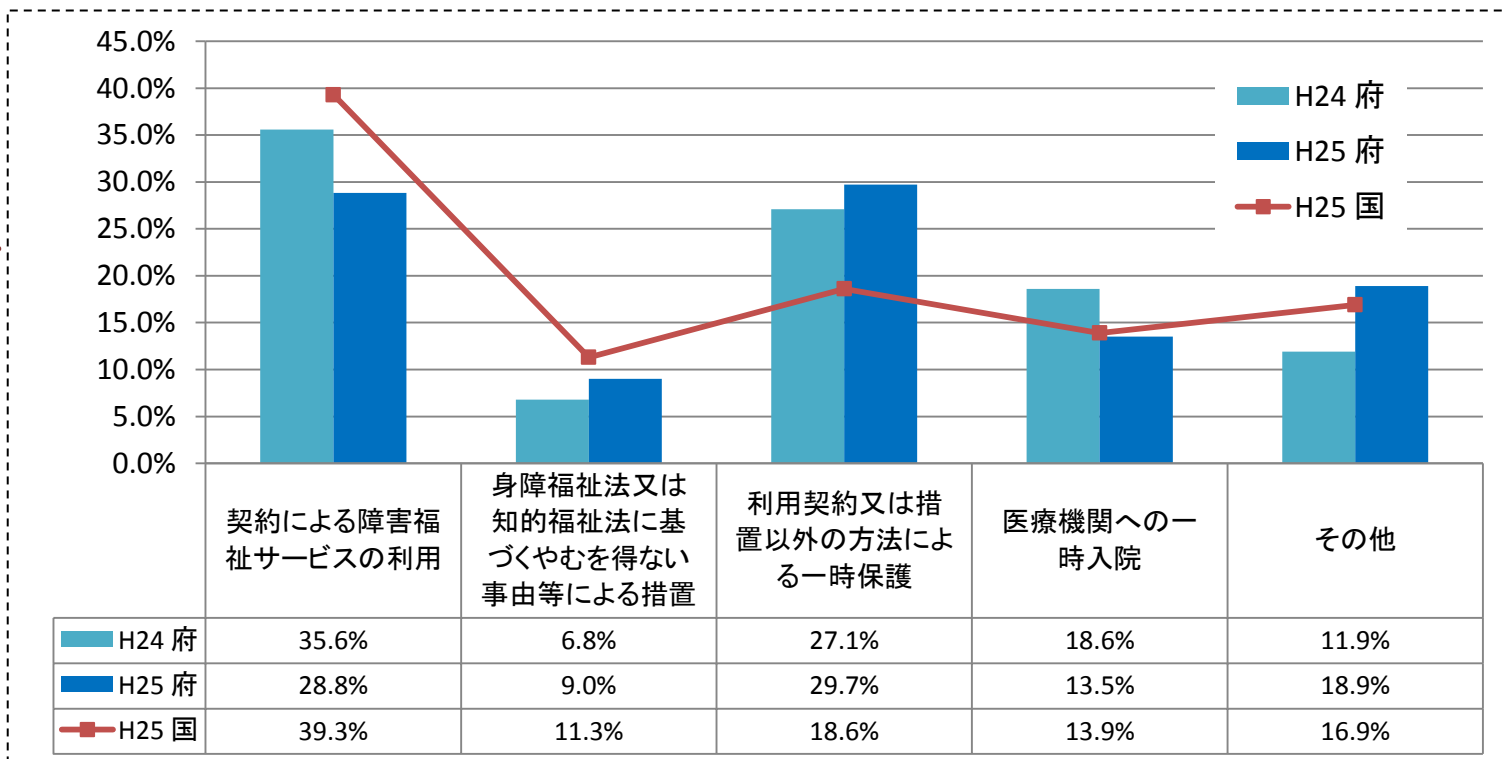
	障害者総合支援法上のサービス	児童福祉法上のサービス	自立支援医療	地域生活支援事業のサービス	市区町村及び都道府県が実施する事業	その他	利用なし	不明
H24 府	56.8%	0.0%	20.1%	15.6%	3.0%	3.0%	24.1%	1.5%
H25 府	48.5%	0.7%	25.6%	11.8%	3.0%	1.0%	33.7%	0.3%
H25 国	56.9%	0.7%	24.5%	15.7%	5.9%	4.0%	24.5%	0.1%



# 養護者 ～分離の有無

	被虐待者の保護と虐待者からの分離を行った	被虐待者が複数で異なる対応(分離と非分離)を行った	分離していない事例(一度も分離していない)	現在対応について検討・調整中	その他	合計
H24 府	58件 (29.1%)	0件 (0.0%)	116件 (58.3%)	8件 (4.0%)	17件 (8.5%)	199件
H25 府	111件 (37.4%)	0件 (0.0%)	172件 (57.9%)	8件 (2.7%)	6件 (2.0%)	297件
H25 全国	732件 (41.5%)	3件 (0.2%)	831件 (47.1%)	79件 (4.5%)	119件 (6.7%)	1764件

分離の内訳



< 養護者・全国との比較 >

都道府県別に見た障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待(H25)

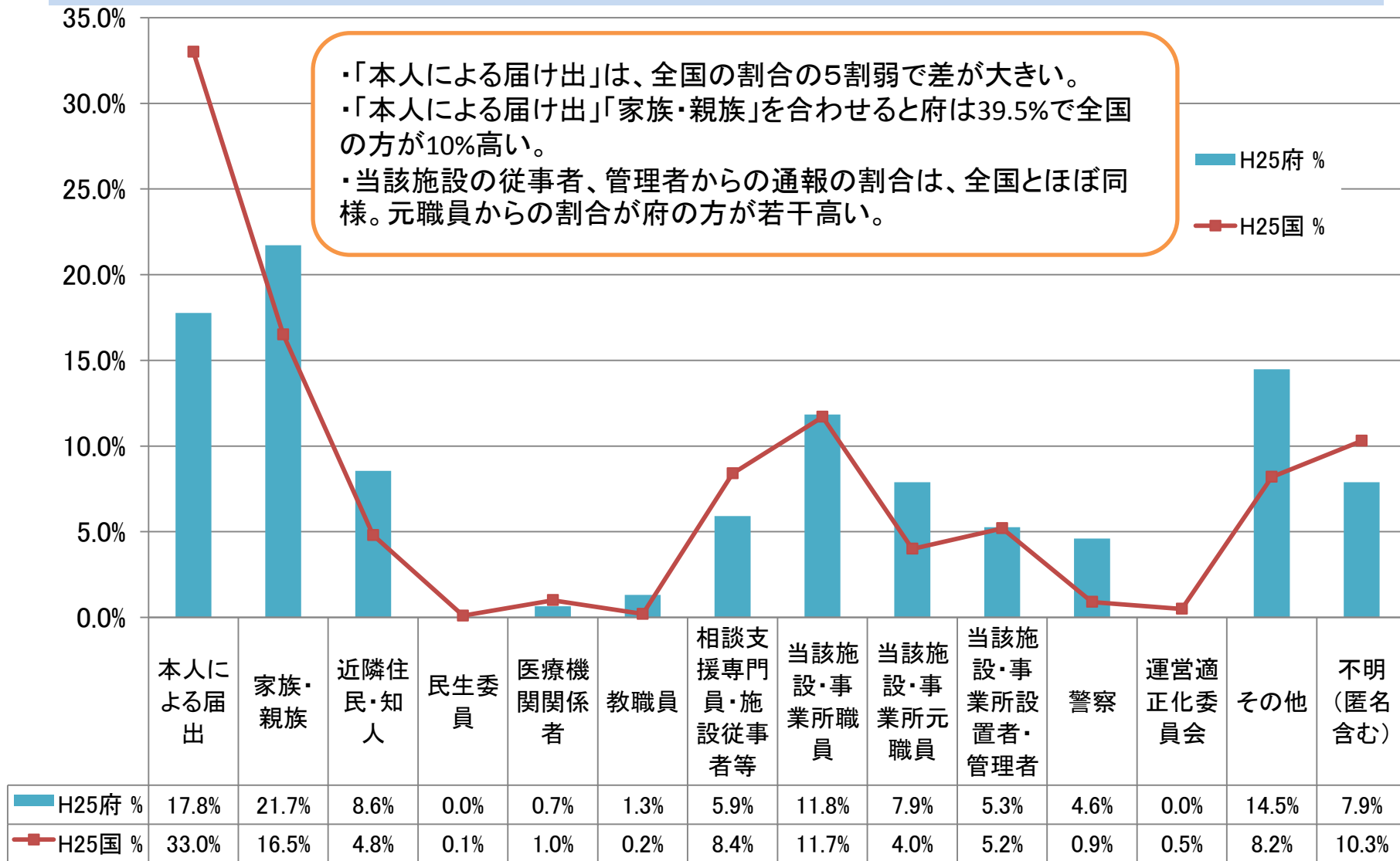
※虐待判断件数順

	相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数		相談・通報 件数	虐待判断 件数
1 神奈川県	388	29	13 熊本県	29	7	25 沖縄県	23	4	37 茨城県	15	1
2 大阪府	152	22	14 長崎県	21	6	26 宮城県	19	4	38 岐阜県	10	1
3 千葉県	104	19	15 群馬県	14	6	27 鳥取県	11	4	39 栃木県	11	1
4 東京都	169	17	16 三重県	33	5	28 埼玉県	34	3	40 山形県	7	1
5 愛知県	79	15	17 島根県	20	5	29 青森県	23	3	41 秋田県	4	1
6 静岡県	38	13	18 滋賀県	17	5	30 愛媛県	21	3	42 福島県	6	1
7 広島県	57	10	19 宮崎県	15	5	31 山梨県	18	3	43 徳島県	17	0
8 兵庫県	63	9	20 福岡県	60	4	32 和歌山県	9	3	44 大分県	16	0
9 福井県	24	8	21 岡山県	39	4	33 高知県	9	3	45 岩手県	14	0
10 北海道	80	7	22 京都府	26	4	34 石川県	16	2	46 新潟県	10	0
11 長野県	32	7	23 山口県	23	4	35 奈良県	12	2	47 富山県	2	0
12 鹿児島県	32	7	24 佐賀県	21	4	36 香川県	17	1	合計	1,860	263

<施設従事者・全国との比較>

# 施設従事者等 ～通報・届出・相談

・「本人による届け出」は、全国の割合の5割弱で差が大きい。  
 ・「本人による届け出」「家族・親族」を合わせると府は39.5%で全国の方が10%高い。  
 ・当該施設の従事者、管理者からの通報の割合は、全国とほぼ同様。元職員からの割合が府の方が若干高い。



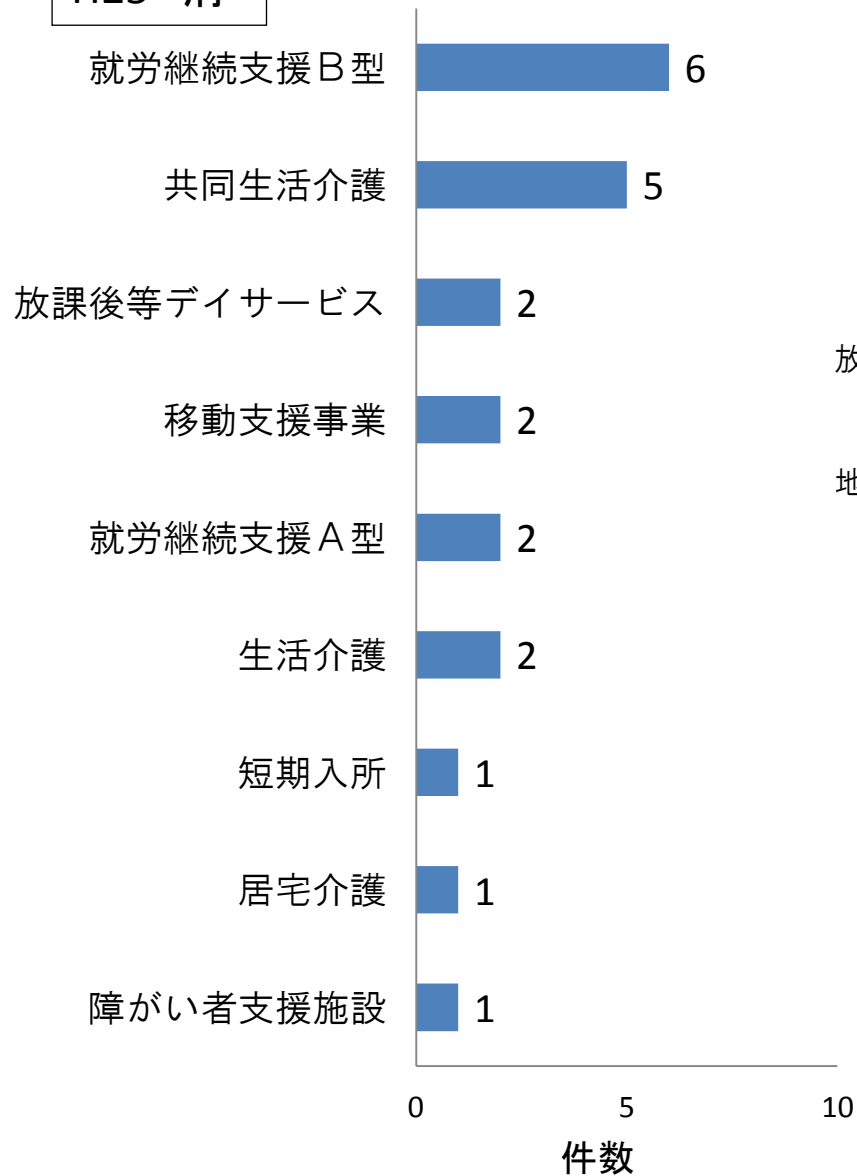
※複数回答有

※それぞれの通報・届出・相談総件数に対する割合

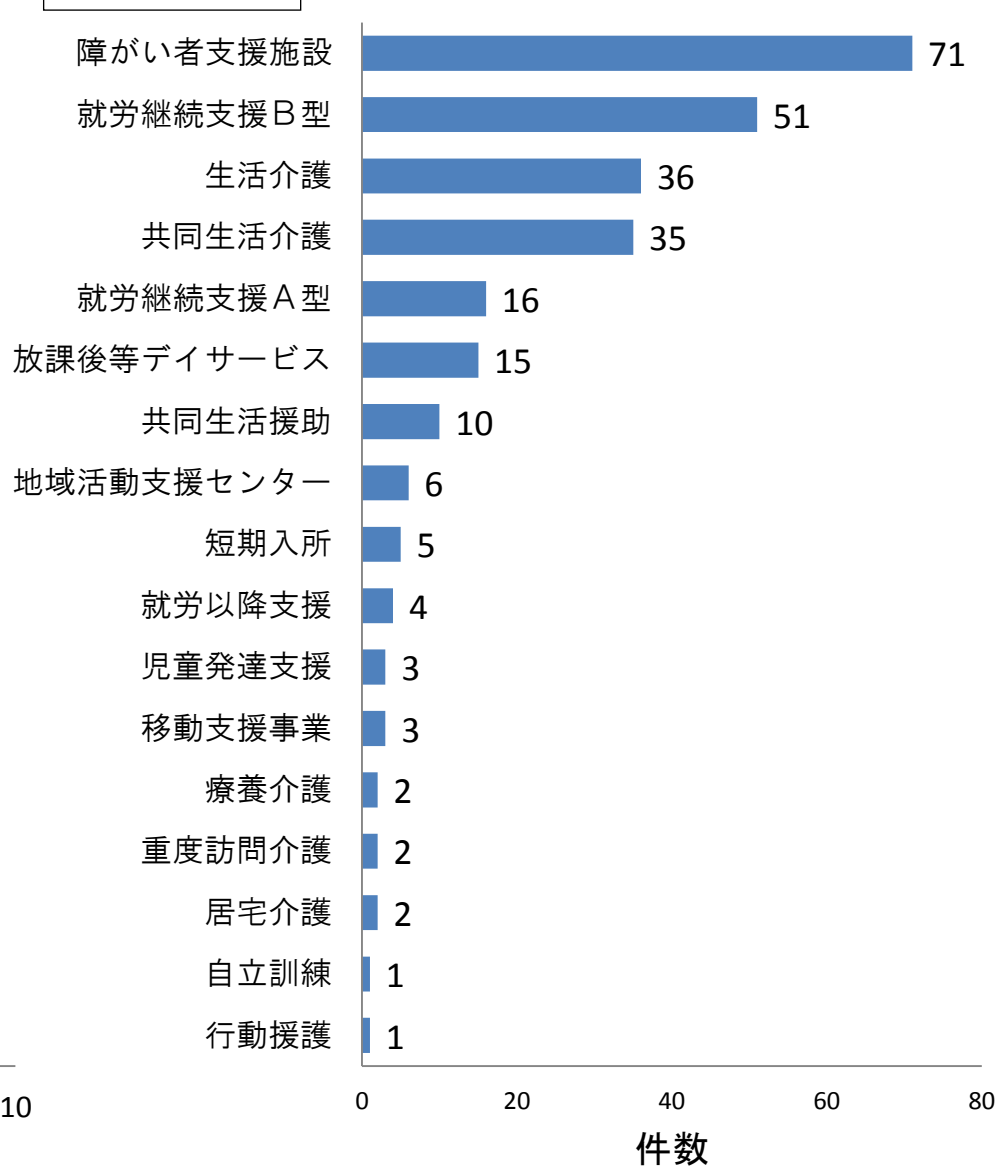
# <施設従事者・全国との比較>

## 障がい者福祉施設従事者による障がい者虐待が認められた事業所種別

H25 府



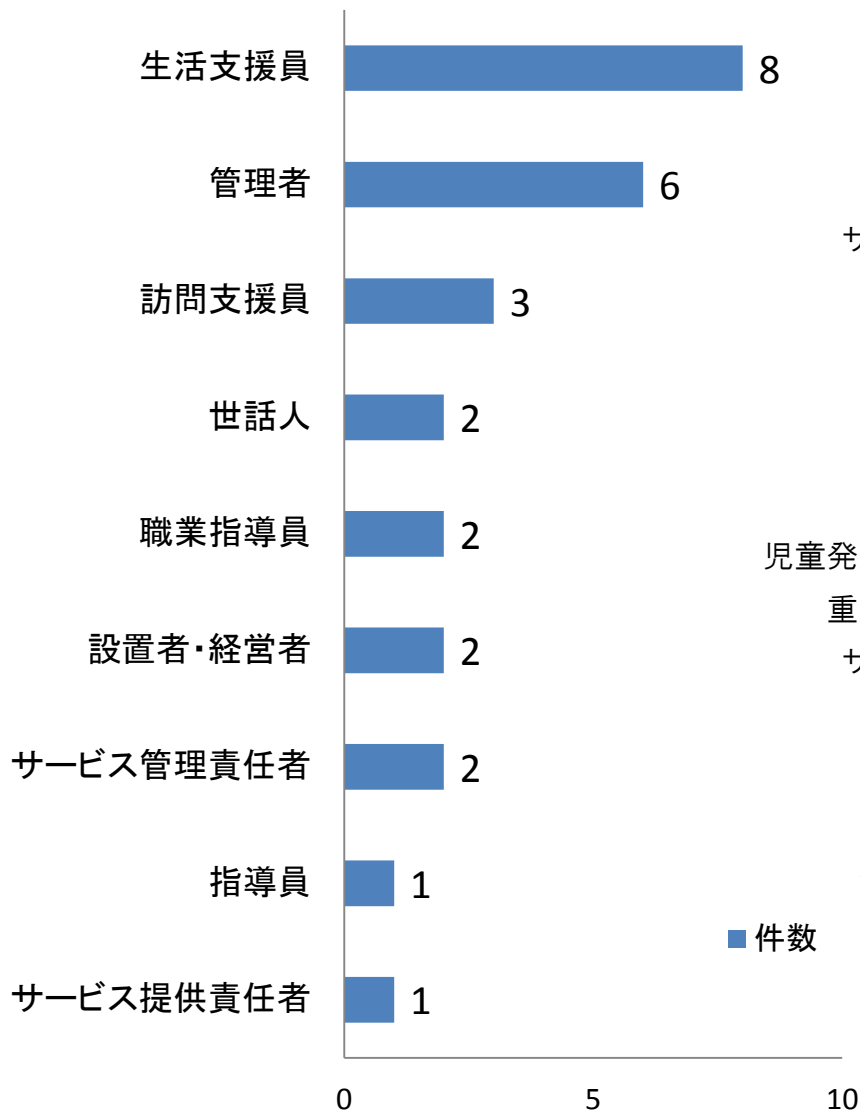
H25 全国



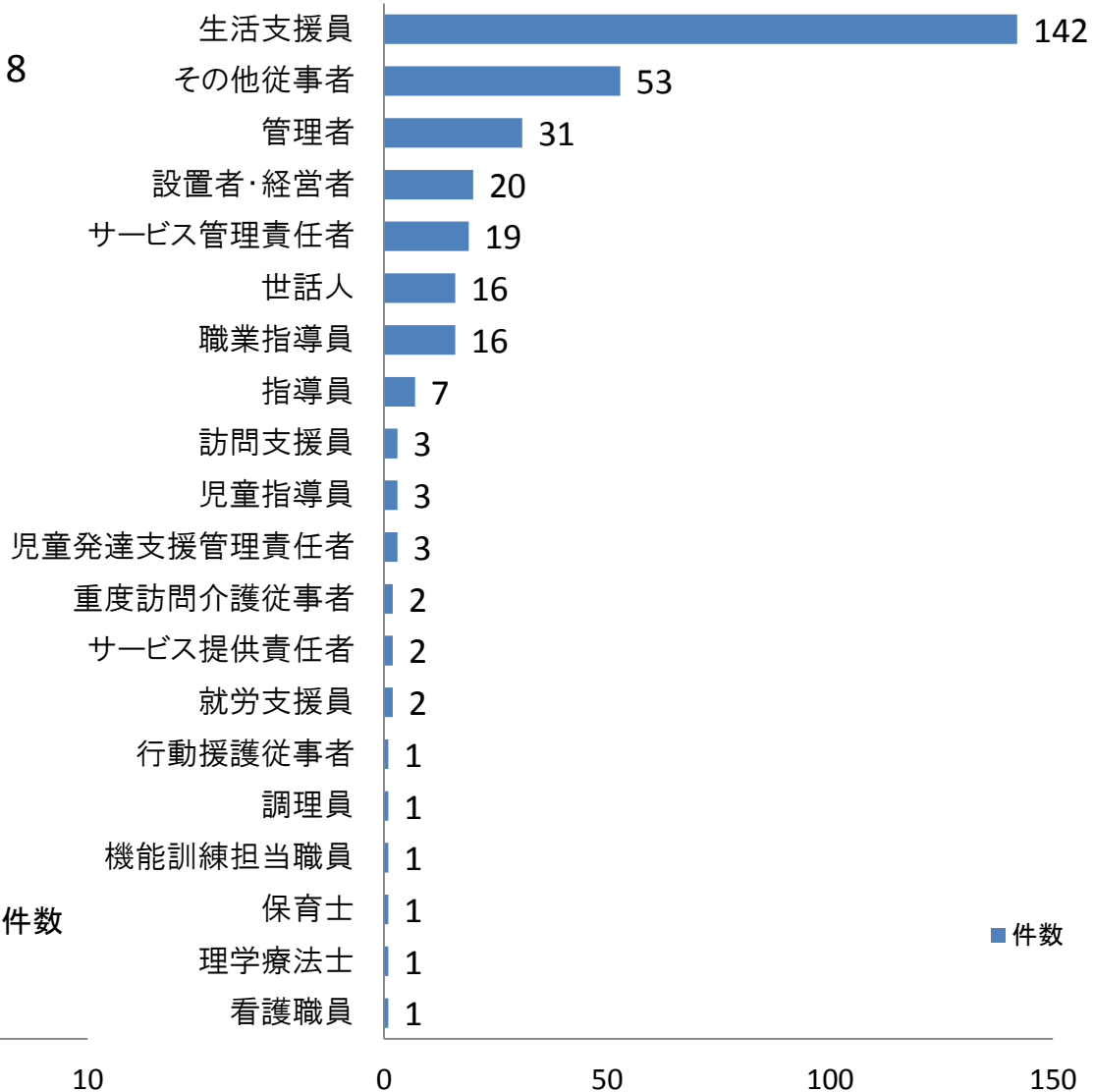
# <施設従事者・全国との比較>

## 虐待を行った障がい者福祉施設従事者等の職種

H25 府



H25 全国



# 【傾向】 障がい福祉施設従事者等による虐待

	大阪府		全国	
	H24	H25	H24	H25
通報・届出・相談 (複数回答)	「当該施設・事業所職員」 18.0%	「家族・親族」 21.7%	「本人による届け出」 29.7%	33.0%
	「本人による届け出」 15.7%	17.8%	「家族・親族」 18.0%	16.5%
	「家族・親族」 13.5% 「当該施設以外の相談支援専門員・施設従事者等」 13.5%	「当該施設、事業所職員」 11.8%	「当該施設・事業所職員」 15.1%	11.7%
虐待類型 (複数回答)	「身体的虐待」 60.0%	「心理的虐待」 54.5%	「身体的虐待」 57.5%	56.3%
	「心理的虐待」 40.0%	「身体的虐待」 40.9%	「心理的虐待」 52.5%	45.6%
	「放棄・放任」 20.0%	「経済的虐待」 13.6%	「性的虐待」 12.5%	11.4%
虐待のあった障がい福祉施設等の種別	「共同生活介護」 40.0%	「就労継続B型」 27.3%	「就労継続支援B型」 25.0%	「障がい者支援施設」 27.0%
	「就労継続支援B型」 40.0%	「共同生活介護」 22.7%	「障がい者支援施設」 22.5%	「就労継続B型」 19.4%
	「生活介護」 20.0%	「生活介護、移動支援、放課後等デイサービス」 9.1%	「共同生活介護」 12.5%	「生活介護」 13.7%

- ・家族・親族及び本人からの通報は、39.5%（全国49.5%）
- ・当該施設、事業所職員・管理者からの通報17.1%（全国16.9%）
- ・大阪府での障がい福祉施設等従事者による虐待は、H24は5件、H25は22件の内訳。

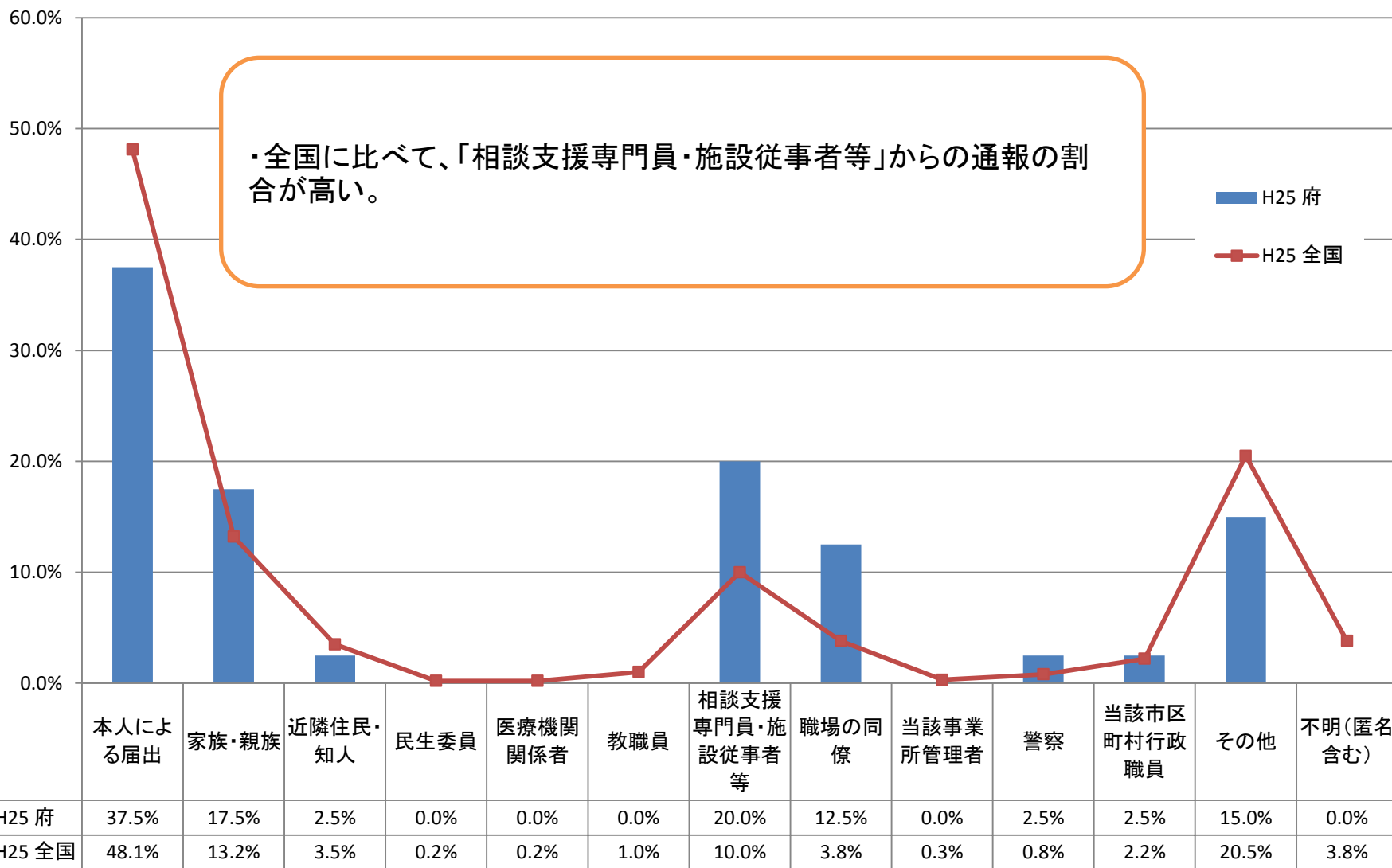
# 【傾向】 障がい福祉施設従事者等による虐待 ～被虐待者～

	大阪府				全国			
	H24(11人の内訳)		H25(98人)		H24		H25	
性別	「男性」	72.7%		55.1%	「男性」	67.0%		62.2%
年齢層	「20～29歳」	63.6%	「30～39」	36.7%	「20～29歳」	27.3%		25.3%
	「40～49歳」	18.2%	「20～29」	35.7%	「30～39歳」	21.0%	「40～49」	21.5%
	「18・19歳」 「30～39歳」	0.9% 0.9%	「40～49」	19.4%	「40～49歳」	15.9%	「30～39」	20.9%
障がい程度 区分	「区分3」	36.4%	「区分5」	29.6%	「なし」	28.4%	「区分6」	23.5%
	「なし」	27.3%	「区分6」	24.5%	「区分3」	18.2%	「区分5」	17.4%
	「区分5」 2%	18.	「区分4」	18.4%	「区分6」	15.9%	「なし」	13.0%
障がい種別 (複数回答)	「知的障がい」	100%		93.9%	「知的障がい」	54.5%		79.8%
			「身体障がい」	30.6%	「精神障がい」	39.3%	「身体障がい」	29.2%
			「精神障がい」	4.1%	「身体障がい」	19.7%	「精神障がい」	14.1%

- ・年代は、大阪府では20代から30代の方が約70%(養護者による虐待より若い)
- ・区分4以上の方が70%弱(区分3以上が87.8%)、区分なしは1%。全国は区分4以上は53.6%(区分3以上40.9%)区分なし13.0%で全国に比べ障がい程度区分の高い方の割合が高い。
- ・行動障がい有の方が、20.4%、全国21.3%

# 使用者 ～通報・届出・相談

・全国に比べて、「相談支援専門員・施設従事者等」からの通報の割合が高い。





# 平成25年度「利用者による障がい者虐待の状況等」の 取りまとめ結果を公表（H26年7月18日）

（厚生労働省 大臣官房地方課労働紛争処理業務室）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000051485.html>

### 1. 通報・届出及び虐待と認められた事案について

		通報・届出 (事業所数)		障がい者虐待が認められた事案(事業所数)		H24半年分 全国の結果
全体		775	府 55	253	府 18	
内訳	都道府県からの報告	117	9	31		21
	労働局等への相談	504		100		37
	その他労働局等の把握	154		122		75

## H25使用者による虐待(全国の状況)

2. 被虐待者の人数 393人(H24年度 半年分 194人)

3. 被虐待者の障害種別(重複あり)

障がい種別	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	合計
人数	57	292	56	4	409
%	14.5	74.3	14.2	1.0	—

4. 虐待種別(重複あり)

虐待種別	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放置等	経済的虐待
人数	27	7	47	5	345
%	6.9	1.8	12.0	1.3	87.8

5. 虐待を行っていた使用者 260人(H24半年分 136人)

内訳	事業主	所属の上司	所属以外の上司	その他	合計
人数	215	29	2	14	260
%	82.7	11.2	0.8	5.4	100

※%は小数点第2位を四捨五入

## H25使用者による虐待（全国の状況）

### 6. 使用者による障がい者虐待が認められた場合に採った措置 389件

採った措置	件数	%
労働基準関係法令に基づく指導等 (うち最低賃金法関係 308件)	341	87.7
障害者雇用促進法に基づく助言・指導	37	9.5
男女雇用機会均等法に基づく助言・指導	2	0.5
個別労働紛争解決促進法に基づく助言・指導等	9	2.3

### 7. 使用者による障がい者虐待が認められた事業所の規模

5人～29人が129事業所(51%)、30～99人が48事業所(19.0%)、  
5人未満 が45事業所(17.8%)・・・**99人未満の事業所が87.8%**

### 8. 事業所の業種

製造業が106事業所(41.9%)、医療・福祉が42事業所(16.%)、  
卸売業・小売業が25事業所(9.9%)

### 9. 被虐待者の雇用形態

パート等が180人(45.8%)、正社員147人(37.4%)・・・**83.2%**

## < 参 考 >

【大阪府】平成25年度 障がい者虐待対応状況

<http://www.pref.osaka.lg.jp/hodo/index.php?site=fumin&pageId=17943>

【厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活推進室】

平成25年度 都道府県・市区町村における障害者虐待事例への対応状況等(調査結果)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000065128.html>

【厚生労働省 大臣官房地方課労働紛争処理業務室】

平成25年度 使用者による障害者虐待の状況等の取りまとめ結果

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000051485.html>